



平成 30 年 10 月 29 日

各 位

会 社 名 燦キャピタルマネージメント株式会社
代表者名 代表取締役社長 前田 健司
(コード番号：東証 JASDAQ2134)
問 合 先 取締役 経営企画室長 松本 一郎
(TEL. 03-6452-9626)
U R L <http://www.sun-capitalmanagement.co.jp>

当社不動産投資事業における収益獲得に関するお知らせ

当社は、国内不動産投資事業におけるインバウンド向け宿泊関連施設への取組として、下記のと
おりの 2 物件の不動産売買取引を行いましたので、お知らせいたします。

記

1. 物件の概要

売買物件は下記のとおりです。

取引	所在地	種類	総床面積 (㎡)	地積 (㎡)
不動産売買契約 (取得及び売却) 契約日：10月29日 決済日：10月29日	大阪府大阪市西区	共同住宅・宅地	2,267.92	281.75
不動産売買契約 (取得及び売却) 契約日：10月29日 決済日：10月29日	大阪府大阪市中央区	宅地	—	117.07

2. 取引の概要

上記 2 件の取引により、当社が獲得した収益の総額は、340 百万円となります。

なお、上記物件の取引価格の詳細につきましては、当該不動産売買契約における取得先及び売却先との守秘義務契約により、公表を差し控えさせていただきますが、当社と取得先及び売却先との間には、記載すべき資本関係・人的関係・取引関係はなく、属性について問題はありません。

3. 今後の見通しについて

当社は、訪日外国人観光客の増加に伴い、国内不動産事業としてインバウンド向け宿泊関連事業を取組んで参りましたが、国家戦略特別区域法に基づく旅館業法の特例制度である「国家戦略特別区域外国人滞在施設経営事業（特区民泊）」の実施地域として指定された大阪府において、特区民泊



を活用した宿泊関連施設の開発を、大阪及び東京の不動産事業者との情報交換及び交渉を重ねてきた結果、今回、上記の取引を成約することが出来ました。

当社としましては、大阪において、特区民泊に関する案件情報が多数寄せられていることから、当社の収益獲得のためのチャンスと捉え、今後もインバウンド向け宿泊関連事業における今回のような取組を行いたいと考えております。

なお、上記不動産の売買取引による収益は、進行中の当第3四半期に計上される予定ですが、当社の当期連結業績予想に影響を与える場合には、確定次第、速やかに開示してまいります。

以上